



言いたいことが伝わる！リフォーム術  
No.14

# 別荘の丸太のデッキ 編

ログハウスのウッドデッキ。ウッディーライフというログハウス系の雑誌を創刊の時から買っているというログハウス好きのお客様。工事中宿泊させていただいたのですが、薪ストーブで暖をとりながら感じた事です。それは…「木のぬくもり」!! お客様の数十年の思いが語られ「なるほど良さがわかる」というように。亀工房は木と共に生きてきました。木の事はそうとうの知識があると自負はしています。木の良さも知っているつもりでした。しかしそれは間違いでした。薪ストーブから漏れる炎が、ハンドカットの丸太の壁に反射するとアクリウムではなく、高価な絵画でもなく、大自然を映し出すデジタルハイビジョンでもない、安心感と癒しを与えてくれるものになっていました。

工事は外のデッキでした。デッキ材はウリンという高耐久でメンテナンスフリーな輸入木材です。因みに、ここは那須の別荘地。管理も充実していて温泉付きだそうです。昔は湯治場だった源泉が近くにあり最高の立地です。開発時期から数十年、別荘の家主も高齢化が進み、売りにでている物件も多いそうです。この金額なら買ってほしいという価格をもっていれば、意外と安く買う事も出来るかもしれないという事です。

余った材で作ったベンチ



ウリンの階段



大工：岡村隼人



完成したデッキ



亀工房

<http://www.kame-kobo.jp>